

概要

- 所在地 山口県山陽小野田市大字郡2300番地
- 工場長 福永 誠規
- 連絡先 環境保安部 0836-72-0913
- 従業員数 228名(2007年5月末現在)

沿革

厚狭工場は1916年に日本火薬製造株式会社としてこの地で創業し、産業用火薬類、石油化学工業用触媒、半導体封止材用エポキシ樹脂等の製品を世に出してきました。1966年には、名称を「厚狭作業所」から「厚狭工場」に改



称しました。1995年には、品質ISOを、1998年には、環境ISOの認証を取得し、現在に至っております。

主な事業内容

産業用火薬として含水爆薬、硝安油剤爆薬、黒色火薬、ダイナマイト、機能性化学製品として石油化学工業用触媒、半導体封止材用エポキシ樹脂、プリント基板用感光性樹脂、液晶シール材を、そして医薬用としてニトログリセリンを製造しています。



含水爆薬製造工室



触媒第3工場

周辺の環境

厚狭工場は、山口県山陽小野田市の中央を流れる厚狭川の河口近くに川を挟んで立地しています。西側に位置する「川西工場」は、一方を厚狭川、他方は山に囲まれ

ており、場内を「石鞆川」、「四瀬川」という二筋の川が厚狭川に注いでいます。東に位置する「川東工場」は、土地を平坦に切り開らいたところに立地しています。

地域とのかかわり

臭気及び騒音については、20数年前からモニター制度を設け、地域の方にチェックをお願いしてきました。モニタリングの結果は毎年開催している地区懇談会で場内の環境活動の内容と共に公表しています。また、地区懇談会で出された地域の要望に基づいた環境活動(植林、草刈り等)にも積極的に参加し、地域との共存を図っています。



日本化薬で初めて導入した脱臭炉。800℃以上の高温で有害大気汚染物質を処理しています。